

共催：東北大学高度教養教育・学生支援機構、障害学生支援相互協力協議会

大学における身体障害学生への支援に関する研修会

「私は車椅子に乗っている、ただそれだけのこと」

大学では、視覚障害、聴覚障害、身体障害、内部障害、発達障害、精神障害など、さまざまな障害のある学生が学んでいます。日本学生支援機構による『平成 30 年度（2018 年度）大学、短期大学及び高等専門学校における障害のある学生の修学支援に関する実態調査報告書』によれば、2018 年に大学に在籍している障害学生は 3 万 190 人で、大学における全学生に占める障害学生の割合は 1.00%でした。これは大学で把握している数であり、これより多くの障害学生が大学で学んでいると考えられます。

これまで、障害学生支援相互協力協議会では、障害学生支援に関するさまざまな情報共有を行ってきましたが、今回、神戸学院大学心理学部講師でいらっしゃる中村珍晴先生をお迎えして、大学における障害学生支援についてご自身の体験を踏まえ、ご講演いただけることとなりました。講演タイトルは「私は車椅子に乗っている、ただそれだけのこと」です。参加費は無料ですので、奮ってご参加ください。

<中村珍晴（なかむら たかはる）先生プロフィール>

1988 年 6 月 12 日、愛知県名古屋生まれ。1991 年 3 月、父の故郷である山口県下関市に引っ越す。2007 年 3 月、山口県立豊浦高等学校を卒業。2007 年 4 月、奈良県・天理大学体育学部に進学しアメリカンフットボールをはじめ。同年 9 月、関西学生アメリカンフットボール連盟の試合にて、相手選手と接触する際に頸椎を負傷。手術は成功したが、後遺症のため車椅子で生活を送ることになる。その後、リハビリや家族をはじめ周囲の支えにより、2010 年 4 月に天理大学へ復学、そしてアメリカンフットボール部にスタッフとして復帰。2012 年 1 月、同クラブのヘッドコーチに就任し、2015 年 12 月まで 4 年間務める。2014 年には関西学生アメリカンフットボールオールスターゲーム White stars のアシスタントコーチを担当。また天理大学体育学部を卒業後、2016 年 3 月に大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士前期課程を修了（スポーツ科学）。同年 4 月に同大学院博士後期課程に進学。その後、独立行政法人日本学術振興会特別研究員（DC2）を経て、2018 年 4 月に神戸学院大学心理学部に着任（講師）。現在は、スポーツ心理学の専門家として研究とアスリートの心理サポートを行う。専門はスポーツ心理学、健康心理学、スポーツメンタルトレーニング。



Blog：アメフトで首を骨折し、四肢麻痺になった青年がヘッドコーチとしてチームに復帰した話

<http://storys.jp/story/10768>

YouTube チャンネル：[suisui-Project] 車椅子ユーザーのための情報発信

https://www.youtube.com/channel/UCPrOhW7JcuHaCBL__n5YbJg

日時：**2020 年 2 月 17 日（月） 10:30-12:00**

場所：**東北大学川内北キャンパス マルチメディア棟 6 階大ホール**

対象：障害学生支援相互協力協議会会員、東北大学の教職員、及び東北地方の大学の障害学生支援に関わる教職員

申し込み方法：2020 年 2 月 13 日までに、下記メールアドレスに、氏名・所属を送付ください。

東北大学の方はこちら t-sien@ihe.tohoku.ac.jp

東北大学以外の方はこちら JOINUSS-D@ihe.tohoku.ac.jp

問い合わせ先：上記メールアドレスにご連絡いただくか、

東北大学 学生相談・特別支援センター 特別支援室 022-795-7696 まで